

MOTION & CONTROL

証券コード 6471

2004年3月期 NSKグループ報告書

(2003年4月1日～2004年3月31日)



东莞NSKステアリングシステムズ
(中国 広東省)

NSK 日本精工株式会社

体質改善の全社的運動により 更なる収益性の安定的向上をめざす



取締役社長
朝香 聖一

Q 当期の経済状況とNSKの販売状況についてお聞かせください。

A 日本経済は、米国や中国の需要拡大に伴って輸出が好調に推移しました。国内における民間企業設備投資が増加しましたことも加わり、雇用環境はいまだ厳しいものがありますが景気は総じて回復基調となりました。海外の状況につきましては、米国経済は堅調な個人消費と情報化投資が牽引役となり持続的成長を果しました。欧州経済も、堅調な英国をはじめ、独仏など他諸国も景気の立ち直りは出遅れたものの緩やかながら回復してきました。アジア経済は、中国における消費の堅調な増加や生産の増加など相変わらず景気拡大が続いたのをはじめ、その他の国においても景気回復傾向にありました。

このような内外経済情勢の下で、当社の連結売上高は5,222億円と前期比で6億円(△0.1%)の減収となりましたが、シートベルトその他の事業譲渡等の影響を外して考えますと前期比で5.0%の増収となります。

国内におきましては、精密機器関連製品の売上が大きく伸びたのをはじめ、自動車向けの軸受、オートマチック・トランス

ミッション用部品や一般産業用軸受が好調な売上増加となりました。一方、事業譲渡の影響があり、全体では前期比で6億円の減収となりましたが、この影響を除いて考えますと増収となります。

海外につきましては、アジア、欧州において前期を上回る売上となりました。米州においても堅調な推移でありましたが、為替換算差額と事業譲渡の影響などから売上高が前期を下回りました。製品別では、各製品とも順調な推移となっておりますが、精機製品、自動車用軸受についての伸びが目立ちました。事業譲渡により売上が減少したことに加え、為替の影響がありました結果、全体の海外売上高では前期比横ばいとなりました。

Q 収益の状況はいかがでしたか。

A 営業利益は260億円となり、前期比で46%の増加となりました。また、経常利益は191億円となり、前期比で77%の大幅な増益となりました。NSKグループ全体で固定費削減、調達コスト削減などの原価低減活動をはじめとする収益改善を行ってまいりましたことに加え、売上の増加に伴う操業度効果も増益に寄与しました。また、欧州では生産拠点の統合、人員の見直し、間接部門の再編などの諸施策が奏功し経常利益

連結決算ハイライト

	2004年 3月期	2003年 3月期
売上高	522,217	522,820
営業利益	25,972	17,847
経常利益	19,119	10,821
当期純利益(△は損失)	14,293	△2,670
総資産	621,877	593,098
株主資本	188,662	170,566
株主資本比率(%)	30.3	28.8
一株当たり		(単位:円)
株主資本	349.83	316.27
年間配当額	6.50	5.00
当期純利益(△は損失)	26.12	△5.22

の黒字化が達成されました。更には、低採算部門の事業譲渡があり、これらによって前期に対し、大きな収益向上となったわけです。

Q **中国の成長、日米欧の本格的な景気回復が見えてきたと言われておりますが、当面の重点課題についてお聞かせください。**

A 企業業績、景気指標などからも確かに経済環境が好転していると考えます。しかし、中国経済の過熱、原材料の騰勢、イラク問題、為替の動向など、波乱を呼び起す要因もあり、回復が長期間持続するかどうかは予断を許しません。

物量が増えてきたからと言って、改革の手を緩めることなく競争環境を厳しく捉え、中期計画の重点課題である体質改善の推進と成長戦略の展開を計画通りに実行していくことが重要であります。

体質改善においては、これまで製造現場で行ってききました革新運動を技術、販売及び管理部門を巻き込んだ全社運動に拡大しNSK全体の経営改革につなげてまいります。

成長戦略においては、中国事業の積極的展開、スピードアップが最重点課題であり、これまで行ってききました昆山、張家港、蘇州、東莞の4拠点での生産の拡大に加え統括会社を核とした

販売体制、中国テクニカルセンターの充実などの技術体制を強化し、競争優位確立のための事業基盤構築を図ってまいります。また、成長戦略を支える設備投資については利益向上に貢献し高収益企業への転換を促進する投資戦略の下で着実にやってまいります。

NSKは経営の透明性、健全性を高めるためこれまでもコーポレートガバナンスの強化に取り組んでまいりましたが、コーポレートガバナンスのより一層の強化を図るため、来る株主総会の決議を経て委員会等設置会社への移行を予定しております。

Q **最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。**

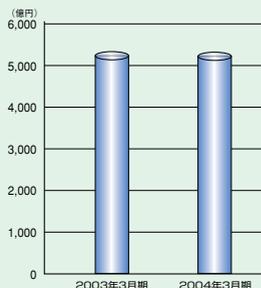
A 世界中に広がるお客様にとっての「満足度NO.1企業になる」ことを通して高収益の実現をめざしていくことが株

主様のご期待に繋がることを肝に銘じて、グループ社員の先頭に立ってまい進してまいります。

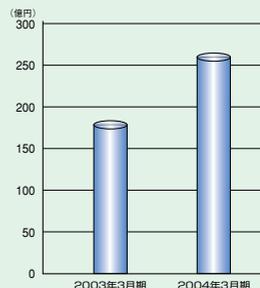
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



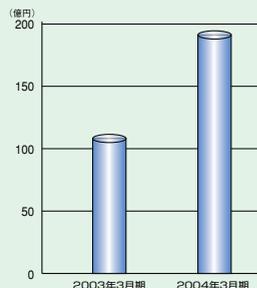
●売上高



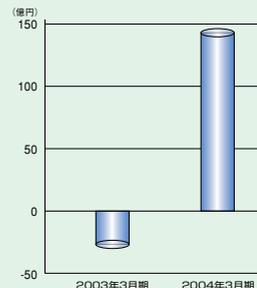
●営業利益



●経常利益



●当期純利益



軸受



高負荷容量 自動調心ころ軸受
EAシリーズ

事業概要

NSKの軸受事業は売上高の約6割を占める中核事業であります。売上高は、世界でも上位の地位を占め日本ではトップの地位にあります。総合軸受メーカーとして世界のあらゆる産業・地域に供給し、特に小径～標準玉軸受、精密軸受は世界で1、2位のシェアを占めるコア商品です。生産・販売・開発の拠点を日本・米州・欧州・アジアの4極に展開し、グローバルにユーザーニーズに応える体制を整えております。



トルクコンバータ用
スラストニードル軸受

市場環境と業績

日本においては、一般産業向けは高成長を続けている中国関連の需要を中心として前期比4%の増収となり、自動車産業向けも好調に推移したことから、国内全体として前期比4%の増収となりました。海外は、米州・欧州では大手ユーザーの在庫調整等がありましたものの、中国をはじめアジア地区での一般産業向けにおいて販売が増加しました。欧州、アジアでの自動車向けも好調でありましたことにより前期比3%の増収となりました。

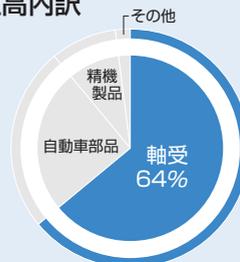
以上の結果、軸受の連結売上高は3,328億円と、前期比3%の増収となりました。

展望と戦略

事業環境が目まぐるしい速度で変化中、更なるCS向上をめざしグローバルなユーザーニーズに迅速に対応するため、地域別・産業別にセグメント管理を徹底させていただきます。マーケットへのスピードをもった対応力と高度な技術開発力により戦略商品を投入し新規需要の開拓を進めます。

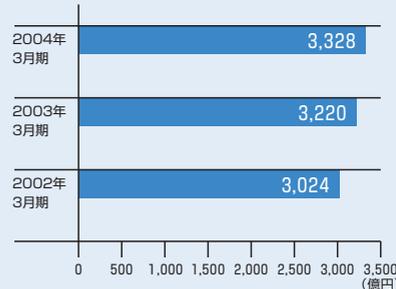
グローバルでの最適地調達への推進と積極的な生産能力増強も進め、全社的な生産革新に取り組み生産性を高めることで収益体質の向上を図ってまいります。

売上高内訳

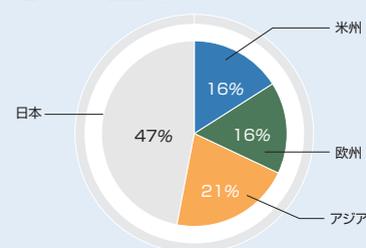


- 全売上高の6割を占める中核事業
- 中核商品：ミニアチュア・小径玉軸受、標準玉軸受、自動車用軸受、精密軸受

連結売上高推移



地域別売上高内訳



自動車部品



スプラグタイプ・
ワンウェイクラッチ

事業概要

NSKの自動車部品事業は、電動パワーステアリングなどに代表されるステアリング事業、ワンウェイクラッチ、フリクションプレートなどを主力製品とするオートマチック・トランスミッション用部品事業で構成され、国内外の自動車メーカーに対して、グローバルな生産拠点を、高品質の製品を供給しております。



ピニオンタイプ
電動パワーステアリング

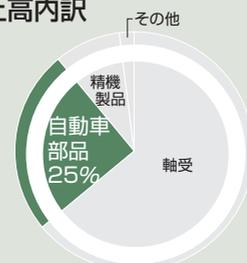
市場環境と業績

当期の業績に関しまして、日本は自動車産業の堅調な需要推移に支えられ、オートマチック・トランスミッション用部品、電動パワーステアリングなどが増加しました。一方、海外におきましても、欧州向け電動パワーステアリング、米州向けステアリング関連製品などの販売が引き続き順調に推移しました。シートベルト、等速ジョイントの事業譲渡等を行いました結果、自動車部品の連結売上高は、1,293億円となり、前期比14%の減収となっておりますが、事業譲渡等を考慮しました実質の前期比は増収となりました。

展望と戦略

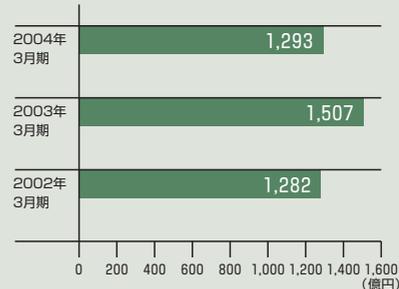
環境と安全に対する社会的なニーズの高まりから大きな変貌が予想される自動車産業において、NSKは、グローバルな生産・販売・開発拠点を活用しながら、燃費性能に優れた電動パワーステアリングなど、先進的な技術を伴い社会的なニーズにも対応した製品を顧客に供給してまいります。特に、今後も急成長が予測される中国市場に対しては、積極的な事業拡大に取り組んでまいります。

売上高内訳

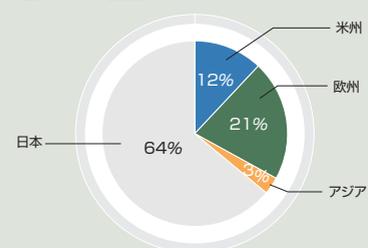


●ステアリング事業、オートマチック・トランスミッション用部品事業の2つの柱

連結売上高推移



地域別売上高内訳



精機製品



高速静音ボールねじ
BSSシリーズ

事業概要

NSKの精機製品には、大きく分類すると直動製品とメカトロ製品があります。直動製品は、ボールねじ、リニアガイドなどで、メカトロ製品は、メガトルクモータ、精密位置決めテーブル、液晶用露光装置などです。直動製品の内、ボールねじは、世界No.1のシェアを持ち、半導体製造装置、工作機械、射出成型機などの高精度で高速位置決めが必要な部位に使用されており、主要機械部品として日本及び世界の産業の進歩・発展に貢献しております。メカトロ製品は、直動製品で培った超精密位置決め技術を生かしたユニット製品で、様々な用途向けに開発・生産しており、半導体、液晶など先端技術産業のニーズに応じております。



メガトルクモータ
PSシリーズ

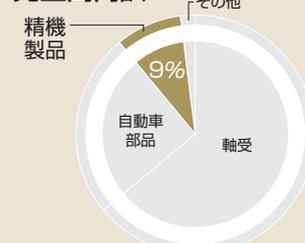
市場環境と業績

日本においては、半導体製造装置関連及び工作機械産業向けが前年度より大幅に増加した結果、前期比で52%の増収となりました。海外においては、欧米での穏やかな市場回復、アジアでの液晶用露光装置などの拡販により、14%の増収となりました。その結果、連結売上高は471億円と、前期比35%の大幅な増収となりました。

展望と戦略

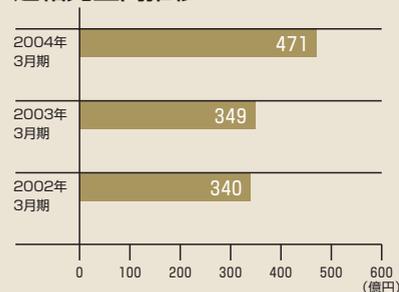
精機製品事業では積極的な新規需要の開拓、新商品開発を推進しております。各製品においてユーザーニーズに対応した商品開発、ビジネス環境の変化に迅速に対応することによりグローバルに中長期的な「成長と収益の安定」をめざしてまいります。

売上高内訳

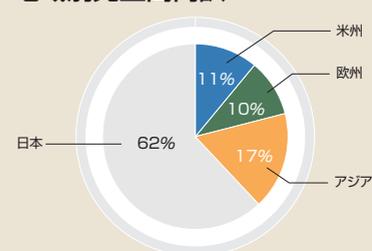


●製品構成:ボールねじ、リニアガイド、メカトロ製品の3つの柱

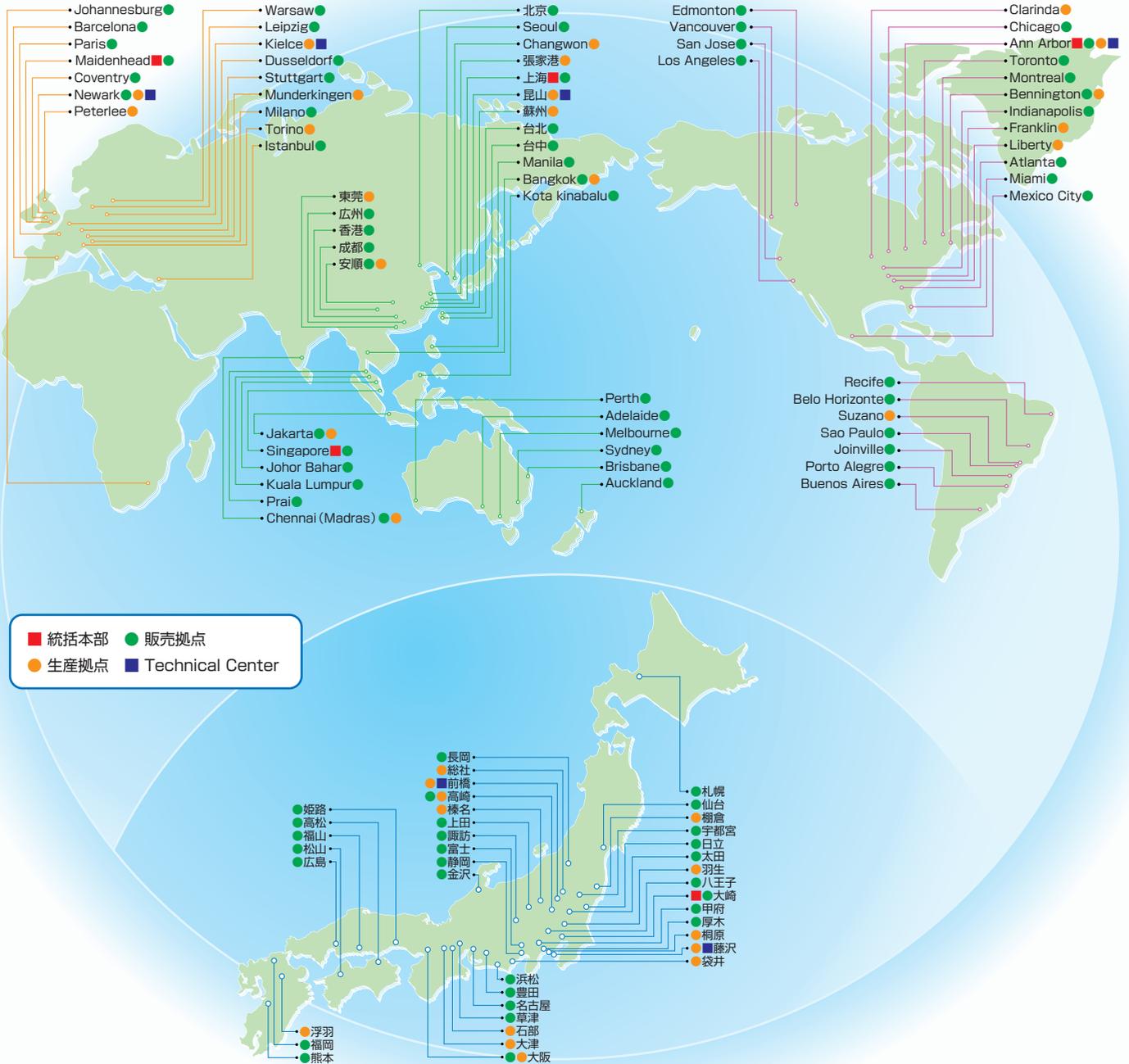
連結売上高推移



地域別売上高内訳



世界に広がるNSKグループのネットワーク



中国事業を更に強化し 世界戦略の要にします

NSKは、急成長を続ける中国市場に、いち早く対応してまいりました。特に江蘇省昆山市では、同市の開発区創設初期から生産拠点（昆山NSK）を開設。後続日系企業の手本となる事業活動を展開するとともに、昆山市の発展に寄与してまいりました。昆山NSKは、月産1千万個体制を確立していますが、今年夏には第3号棟が完成し、自動車用軸受を中心に、生産体制の更なる増強を行います。

また、昨年にはNSK中国技術センターを設立しました。中国の電機・情報及び自動車業界からの、技術面での要望に迅速に対応できる環境を整え、技術の普及活動も積極的に行っております。

中国事業の第2ステージへ

NSKの中国でのビジネスは、02年度175億円、03年度230億円にまで成長してまいりましたが、03年度は中国事業の第2ステージとして、新たに3つの新工場が完成いたしました。広東省東莞にステアリングコラムを、江蘇省張家港に軸受部品を、同省蘇州に米国TIMKEN社との合弁で自動車用の円すいころ軸受を生産する工場を建設。更に、2005年には江蘇省常熟にニードル軸受の生産拠点を設け、現地需要の獲得を中心とした積極的な事業基盤の強化を行います。

こうして、他社に先行したNSKの中国事業は、中国内でのトップブランドをめざし、次なるステージの幕開けを迎えています。NSKはこれまでに培った関係をより深めながら、今後とも地域に根ざした事業展開を行ってまいります。

中国国内事業所



●：生産拠点

貴州虹山恩斯克軸承有限責任公司
Guizhou HS NSK Bearings Co., Ltd.

日本精工(株)安順駐在員事務所
NSK Anshun Representative Office

日本精工(香港)有限公司
NSK Hong Kong Ltd.

日本精工(株)成都駐在員事務所
NSK Chengdu Representative Office

日本精工(株)広州駐在員事務所
NSK Guangzhou Representative Office

日本精工(株)北京駐在員事務所
NSK Beijing Representative Office

昆山恩斯克有限公司
Kunshan NSK Co., Ltd.

NSK 中国技術中心
NSK China Technology Center

恩斯克投資有限公司
NSK (China) Investment Co., Ltd.

日本精工(株)上海駐在員事務所
NSK Shanghai Representative Office

恩斯克(上海)国際貿易有限公司
NSK (Shanghai) Trading Co., Ltd.

鉄姆肯一恩斯克軸承(蘇州)有限公司
Timken-NSK Bearings (Suzhou) Co., Ltd.



円すいころ軸受

張家港恩斯克精密機械有限公司
Zhangjiagang NSK Precision Machinery Co., Ltd.



軸受部品

東莞恩斯克轉向器有限公司
NSK Steering Systems Dongguan Co., Ltd.



ステアリングコラム

NSK
NEWS

第13回 '04モーション・エンジニアリング展に出展

NSKは2004年4月21日から23日までの3日間、日本コンベンションセンター(幕張メッセ)にて開催された「第13回'04モーション・エンジニアリング展」に出展いたしました。



今回は出展ブースの面積を昨年までの2倍に拡大し、「新製品」「精機製品」「軸受」の3つのゾーンに分けました。

注目の新製品は、高速静音ボールねじBSSシリーズ、新型メガトルクモータPSシリーズ、PNシリーズを出展いたしました。中でもメガトルクモータPNシリーズは、実機を連想させる大型の実演デモンストレーションを実施。事前に新聞で製品発表を行ったこともあって、多くのお客様の注目を集めました。

また、今回は会期初日に雑誌社を招いて展示品の説明会を行ったため、マスコミ関係からも多くの方にご来場いただき大きなPR効果がありました。

2倍の面積になった出展ブースで、ご来場の方々にNSKの魅力を今まで以上にわかりいただいた3日間でした。

FINANCIAL REPORT

連結決算の概要

連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	2004年3月期 (2004年3月31日)	2003年3月期 (2003年3月31日)	科目	2004年3月期 (2004年3月31日)	2003年3月期 (2003年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	295,491	285,749	流動負債	245,588	227,314
現金及び預金	43,533	37,271	支払手形及び買掛金	83,713	87,382
受取手形及び売掛金	121,208	113,513	短期借入金	77,418	93,102
有価証券	9,385	17,565	社債	36,989	10,000
棚卸資産	75,905	83,487	未払法人税等	6,708	3,816
繰延税金資産	11,447	5,999	その他の流動負債	40,759	33,012
その他の流動資産	35,263	29,187			
貸倒引当金	△1,252	△1,276	固定負債	175,548	183,481
固定資産	326,386	307,349	社債	70,000	106,989
有形固定資産	196,810	198,635	長期借入金	62,141	57,688
建物及び構築物	63,721	65,282	繰延税金負債	16,722	2,756
機械装置及び運搬具	90,493	95,517	退職給付引当金	17,316	6,503
土地	26,426	22,915	役員退職慰労引当金	1,729	1,668
その他の有形固定資産	16,169	14,920	その他の固定負債	7,638	7,875
無形固定資産	8,368	2,732	負債合計	421,137	410,795
投資その他の資産	121,207	105,981	(少数株主持分)		
投資有価証券	88,483	79,697	少数株主持分	12,077	11,736
長期貸付金	349	271	(資本の部)		
繰延税金資産	3,619	5,325	資本金	67,176	67,176
前払年金費用	22,223	14,842	資本剰余金	77,923	77,923
その他の投資その他の資産	8,246	7,306	利益剰余金	58,856	48,366
貸倒引当金	△1,714	△1,461	その他有価証券評価差額金	19,127	5,133
資産合計	621,877	593,098	為替換算調整勘定	△30,061	△23,670
			自己株式	△4,361	△4,362
			資本合計	188,662	170,566
			負債、少数株主持分及び資本合計	621,877	593,098

*各期の記載金額は百万円未満を切り捨てている。

連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	2004年3月期		2003年3月期	
	金額	対売上高比率 %	金額	対売上高比率 %
売上高	522,217	100.0	522,820	100.0
売上原価	409,900	78.5	420,104	80.4
売上総利益	112,317	21.5	102,715	19.6
販売費及び一般管理費	86,345	16.5	84,867	16.2
営業利益	25,972	5.0	17,847	3.4
営業外収益	7,673	1.5	8,100	1.6
受取利息及び配当金	1,424	0.3	1,815	0.4
持分法による投資利益	2,943	0.6	3,378	0.6
雑益	3,305	0.6	2,905	0.6
営業外費用	14,526	2.8	15,126	2.9
支払利息	6,058	1.2	6,567	1.3
雑損	8,467	1.6	8,558	1.6
経常利益	19,119	3.7	10,821	2.1
特別利益	8,504	1.6	15,977	3.1
投資有価証券売却益	7,663	1.5	3,203	0.6
関係会社株式売却益	840	0.1	—	—
退職給付信託設定益	—	—	11,891	2.3
固定資産売却益	—	—	881	0.2
特別損失	1,172	0.2	28,925	5.6
関係会社株式売却損	24	0.0	844	0.2
固定資産除却損	1,147	0.2	—	—
事業構造改善費用	—	—	15,030	2.9
投資有価証券評価損	—	—	12,899	2.5
退職給付引当金繰入額	—	—	151	0.0
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	26,451	5.1	△2,127	△0.4
法人税、住民税及び事業税	9,461	1.8	5,380	1.0
法人税等還付額	194	0.0	216	0.0
法人税等調整額	2,206	0.4	△4,193	△0.8
少数株主利益	684	0.2	—	—
少数株主損失	—	—	426	0.1
当期純利益又は当期純損失(△)	14,293	2.7	△2,670	△0.5

連結剰余金計算書

(単位 百万円)

科目	2004年3月期		2003年3月期	
	金額	対売上高比率 %	金額	対売上高比率 %
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高	77,923		77,923	
資本剰余金期末残高	77,923		77,923	
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高	48,366		53,921	
利益剰余金減少高	3,803		2,884	
配当金	3,505		2,711	
役員賞与	208		172	
持分法適用会社減少に伴う減少高	85		—	
自己株式処分差損	2		—	
当期純利益又は当期純損失(△)	14,293		△2,670	
利益剰余金期末残高	58,856		48,366	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	2004年3月期		2003年3月期	
	金額	対売上高比率 %	金額	対売上高比率 %
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1.税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	26,451		△2,127	
2.減価償却費	26,909		28,812	
3.連結調整勘定償却額	427		—	
4.貸倒引当金の増減額(減少:△)	208		△1,060	
5.退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	1,375		△15,076	
6.受取利息及び受取配当金	△1,424		△1,815	
7.支払利息	6,058		6,567	
8.持分法による投資利益	△2,943		△3,378	
9.有形固定資産売却益	—		△881	
10.有形固定資産除却損	1,147		—	
11.投資有価証券売却益	△7,663		△3,203	
12.投資有価証券評価損	—		12,899	
13.関係会社株式売却益	△840		—	
14.関係会社株式売却損	24		844	
15.事業構造改善費用	—		2,087	
16.売上債権の増減額(増加:△)	△12,863		△2,354	
17.棚卸資産の増減額(増加:△)	5,658		10,577	
18.仕入債務の増減額(減少:△)	1,216		1,316	
19.その他	3,993		3,252	
小計	47,735		36,459	
20.利息及び配当金の受取額	2,912		3,367	
21.利息の支払額	△6,185		△7,475	
22.法人税等の支払額	△6,573		△1,389	
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,889		30,961	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1.有形固定資産の取得による支出	△21,646		△24,734	
2.有形固定資産の売却による収入	3,376		3,065	
3.投資有価証券の取得による支出	△34		△1,088	
4.投資有価証券の売却による収入	12,415		7,227	
5.連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,339		—	
6.連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△355		—	
7.連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—		1,046	
8.持分法適用会社株式の取得による支出	△589		△565	
9.持分法適用会社株式の売却による収入	133		—	
10.貸付金の貸付による支出	△459		△178	
11.貸付金の回収による収入	204		198	
12.その他	△663		△1,194	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,958		△16,223	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1.短期借入金純増減額(減少:△)	△8,878		△7,025	
2.長期借入による収入	8,745		13,014	
3.長期借入金の返済による支出	△7,749		△11,148	
4.社債の発行による収入	—		20,000	
5.社債の償還による支出	△10,000		△20,000	
6.自己株式の取得による支出	△17		△3,665	
7.配当金の支払額	△2,698		△2,721	
8.少数株主への配当金の支払額	△126		△140	
9.その他	△6		△132	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,730		△11,819	
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△145		△539	
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	54		2,380	
VI 現金及び現金同等物の期首残高	58,938		56,558	
VII 現金及び現金同等物の期末残高	58,993		58,938	

単体決算の概要

貸借対照表

(単位 百万円)

科目	2004年3月期 (2004年3月31日)	2003年3月期 (2003年3月31日)	科目	2004年3月期 (2004年3月31日)	2003年3月期 (2003年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	217,925	207,461	流動負債	197,907	146,774
現金及び預金	27,552	17,372	支払手形	3,268	4,757
受取手形	986	906	買掛金	94,394	85,103
売掛金	105,320	94,913	短期借入金	47,672	34,804
有価証券	8,496	17,339	社債	20,000	10,000
製品	7,990	7,959	転換社債	16,989	—
仕掛品	7,267	9,546	未払金	7,358	4,224
材料	349	371	未払費用	7,733	7,382
貯蔵品	622	554	未払法人税等	63	17
未収入金	24,280	23,275	預り金	345	361
繰延税金資産	7,308	2,461	その他の流動負債	81	123
その他の流動資産	27,780	32,778	固定負債	137,389	161,727
貸倒引当金	△28	△19	社債	70,000	90,000
固定資産	348,546	318,740	転換社債	—	16,989
有形固定資産	72,876	74,736	長期借入金	52,500	52,500
建物	27,722	29,306	繰延税金負債	12,851	—
構築物	1,796	1,969	役員退職慰労引当金	1,729	1,668
機械装置	23,847	24,258	その他の固定負債	308	569
車両運搬具	107	137	負債合計	335,296	308,501
工具器具備品	2,009	2,098	(資本の部)		
土地	15,154	15,127	資本金	67,176	67,176
建設仮勘定	2,238	1,838	資本剰余金	77,924	77,923
無形固定資産	1,778	1,557	資本準備金	77,923	77,923
借地権	1,162	1,168	その他資本剰余金	0	—
その他の無形固定資産	616	389	自己株式処分差益	0	—
投資その他の資産	273,891	242,447	利益剰余金	71,695	71,348
投資有価証券	59,698	42,145	利益準備金	10,292	10,292
子会社株式	170,865	176,131	事業研究費積立金	1,627	1,627
長期貸付金	17,567	2,217	海外投資損失積立金	1	1
長期前払費用	389	264	固定資産圧縮積立金	2,606	2,772
前払年金費用	21,972	14,495	別途積立金	53,266	53,266
繰延税金資産	—	3,545	当期末処分利益	3,902	3,388
その他の投資その他の資産	4,485	4,787	株式等評価差額金	18,416	5,274
貸倒引当金	△1,087	△1,140	自己株式	△4,038	△4,022
資産合計	566,471	526,202	負債合計	231,175	217,701
			負債及び資本合計	566,471	526,202

*各期の記載金額は百万円未満を切り捨てている。

損益計算書

(単位 百万円)

科 目	2004年3月期 (自 2003年4月1日 至 2004年3月31日)		2003年3月期 (自 2002年4月1日 至 2003年3月31日)	
	金額	対売上高比率 %	金額	対売上高比率 %
(経常損益の部)				
営業損益の部				
売上高	348,842	100.0	332,421	100.0
売上原価	303,066	86.9	288,230	86.7
販売費及び一般管理費	36,215	10.4	35,957	10.8
営業利益	9,560	2.7	8,234	2.5
営業外損益の部				
営業外収益	3,862	1.1	3,780	1.1
受取利息及び配当金	2,818	0.8	2,283	0.7
雑益	1,043	0.3	1,497	0.4
営業外費用	8,023	2.3	7,624	2.3
支払利息	3,380	1.0	3,504	1.1
雑損	4,642	1.3	4,120	1.2
経常利益	5,399	1.5	4,390	1.3
(特別損益の部)				
特別利益				
投資有価証券売却益	7,525	2.2	3,150	0.9
子会社株式売却益	465	0.1	—	—
退職給付信託設定益	—	—	11,891	3.6
固定資産売却益	—	—	890	0.3
特別損失	7,209	2.0	22,143	6.6
子会社株式売却損	7,209	2.0	851	0.2
投資有価証券等評価損	—	—	14,052	4.2
事業構造改善費用	—	—	7,239	2.2
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	6,180	1.8	△1,819	△0.5
法人税、住民税及び事業税	223	0.1	212	0.1
法人税等還付額	—	—	216	0.1
法人税等調整額	2,789	0.8	△5,106	△1.5
当期純利益	3,167	0.9	3,290	1.0
前期繰越利益	2,084		1,464	
中間配当額	1,350		1,365	
当期末処分利益	3,902		3,388	

利益処分

(単位 百万円)

科 目	2004年3月期(案)	2003年3月期
当期末処分利益	3,902	3,388
固定資産圧縮積立金取崩額	59	165
海外投資損失積立金取崩額	0	0
計	3,962	3,554
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	2,160 (1株につき4円)	1,350 (1株につき2円50銭)
取締役賞与金	150	120
固定資産圧縮積立金	4	—
固定資産圧縮特別勘定積立金	14	—
計	2,329	1,470
次期繰越利益	1,633	2,084

(注) 平成15年12月12日に、1,350百万円(1株につき2円50銭)の中間配当を実施いたしました。

会社概要 (平成16年3月31日現在)

商号：日本精工株式会社 (NSK Ltd.)
 本社：東京都品川区大崎一丁目6番3号
 設立：大正5年11月8日
 資本金：671億円
 従業員数：4,403名(NSKグループ19,772名)
 主な事業内容：軸受、自動車関連部品、
 精密機器関連製品等の製造販売

主な事業所及び工場

東日本自動車第一部 (厚木)
 神奈川県厚木市中町2-6-10
 東日本自動車第一部 (富士)
 静岡県富士市永田町1-124-2
 東日本自動車第二部 (大崎)
 東京都品川区大崎1-6-3
 東日本自動車第二部 (名古屋)
 愛知県名古屋市中村区名駅2-45-7
 東日本自動車第三部 (太田)
 群馬県太田市飯田町1053
 東日本自動車第三部 (宇都宮)
 栃木県宇都宮市今泉3-9-4
 中部日本自動車部 (豊田)
 愛知県豊田市下市場町5-10
 中部日本浜松自動車部 (浜松)
 静岡県浜松市田町330-5
 西日本自動車部 (広島)
 広島県広島市南区大州3-7-19
 西日本自動車部 (大阪)
 大阪府大阪市中央区北浜東1-26
 藤沢工場
 神奈川県藤沢市鶴沼神明1-5-50
 滋賀工場 (大津プラント)
 滋賀県大津市晴嵐1-16-1
 滋賀工場 (石部プラント)
 滋賀県甲賀郡石部町石部が丘1-1-1
 埼玉工場
 埼玉県羽生市大沼1-1

役員 (平成16年3月31日現在) 注：*は代表取締役

*取締役会長	関谷 哲夫	執行役員	三木 玄夫
*取締役社長 (執行役員 社長)	朝香 聖一	執行役員	殿岡 勝久
*取締役副社長 (執行役員 副社長)	村田 正雄	執行役員	恵島 祥一郎
取締役 (執行役員 常務)	町田 尚	執行役員	中川 信太郎
取締役 (執行役員 常務)	大塚 紀男	執行役員	吉開 高
取締役 (執行役員 常務)	小野 敏彦	執行役員	小林 秀一
取締役 (執行役員 常務)	原 道夫	執行役員	阿部 信義
社外取締役	伊庭 保	執行役員	松尾 望
社外取締役	佐成 豊彦	執行役員	玉置 明
常勤監査役	古村 恭三郎	執行役員	斎藤 量一
常勤監査役	高野 公一	執行役員	正田 義雄
社外監査役	小林 喬	執行役員	宇山 洋一
社外監査役	有田 龍郎	執行役員	新保 敏英
執行役員 常務	小野 瀬喜章	執行役員	伊藤 雅夫
執行役員 常務	三觜 行雄	執行役員	相島 雅一
執行役員 常務	篠原 三知夫	執行役員	小森 勉
執行役員 常務	矢野 豊明	執行役員	市川 達夫
執行役員 常務	谷川 彰		
執行役員 常務	庄司 雅夫		
執行役員 常務	谷川 紀彦		
執行役員 常務	出川 光夫		
執行役員 常務	村本 薫		

連結子会社 74社

主な連結子会社名

- NSK 販売 (株)
- NSK 福島 (株)
- NSK ステアリング システムズ (株)
- NSK プレシジョン (株)
- NSK ニードルベアリング (株)
- NSK マイクロプレシジョン (株)
- NSK アメリカズ社 (アメリカ)
- NSK コーポレーション社 (アメリカ)
- NSK ブラジル社 (ブラジル)
- NSK ヨーロッパ社 (イギリス)
- NSK ベアリング・ヨーロッパ社 (イギリス)
- NSK イスクラ社 (ポーランド)
- 恩斯克投資有限公司 (中国)
- NSK 韓国社 (韓国)
- NSK ベアリング・インドネシア社 (インドネシア)
- NSK インターナショナル (シンガポール) 社 (シンガポール)

持分法適用会社 21社

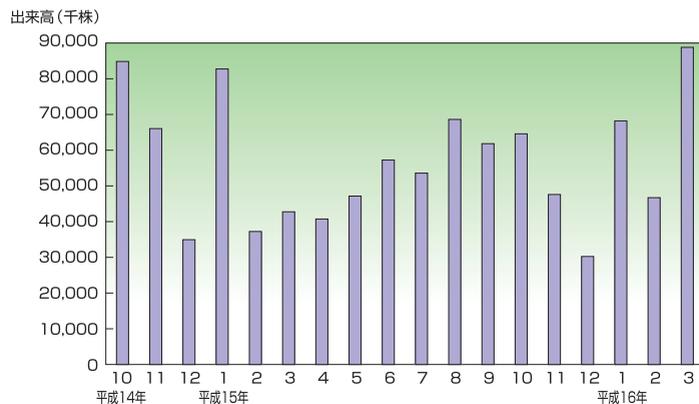
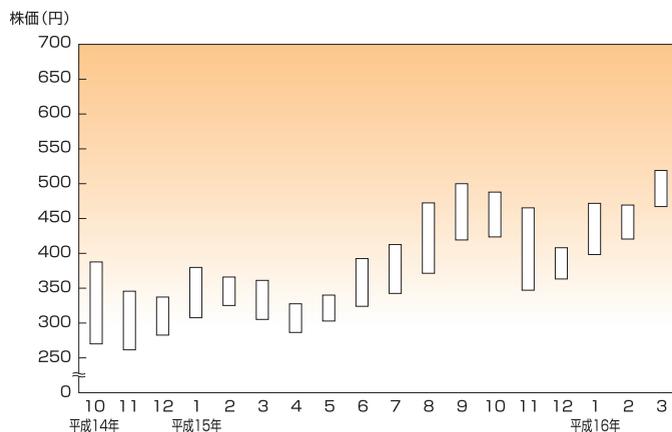
主な持分法適用会社名

- NSK ワーナー (株)
- 井上軸受工業 (株)
- (株) 天辻鋼球製作所
- AKS東日本 (株)

株式の状況 (平成16年3月31日現在)

資本金：	67,176,546,655円
発行済株式総数：	551,268,104株
株主数：	34,313名
当期中の名義書換件数：	966件
当期中の名義書換株数：	18,936,367株

株価及び出来高の推移 (平成14年10月～平成16年3月)

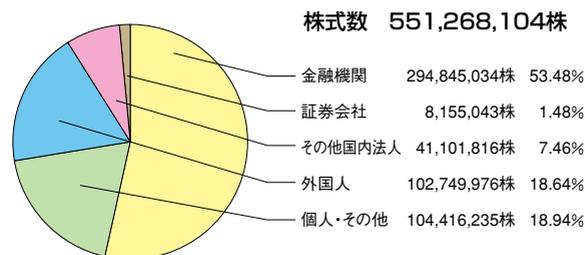
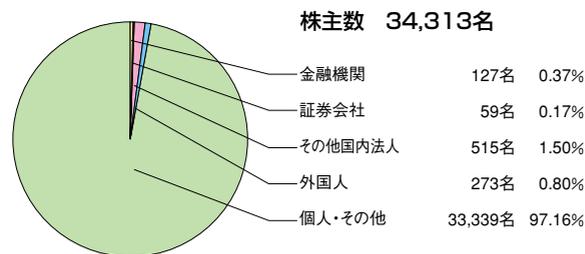


大株主

株主名	所有株式数	議決権比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	50,784,000株	9.48%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	42,915,000株	8.01%
富国生命保険相互会社	31,000,000株	5.78%
日本生命保険相互会社	27,575,090株	5.14%
明治安田生命保険相互会社	25,726,000株	4.80%
株式会社みずほコーポレート銀行	11,300,000株	2.11%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・トヨタ自動車株式会社退職給付信託口)	10,709,600株	2.00%
株式会社損害保険ジャパン	10,358,000株	1.93%
アサド	8,598,000株	1.60%
株式会社東京三菱銀行	7,675,262株	1.43%

(注) 上記以外に、当社は自己株式11,205,949株を保有しております。

所有者別分布状況



金融機関 証券会社 その他国内法人 外国人 個人・その他

株主メモ

- 決算期 — 3月31日
- 定時株主総会 — 6月
- 配当金受領株主確定日 利益配当金—3月31日
中間配当金—9月30日
- 1単元の株式の数 1,000株
- 名義書換代理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
- お問合せ先 (03) 5213-5213 (代表)
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
貸借対照表及び損益計算書の開示は、日本経済新聞に代
えて当社ホームページによることとさせていただきます。
<http://www.jp.nsk.com/account/index.html>

NSK 日本精工株式会社

ホームページアドレス：
<http://www.nsk.com>

